



[2014年 Vol.39]



敦賀港 鞠山防波堤の延伸整備を推進中!

敦賀港では、国際物流ターミナル整備の一環として、敦賀港に静穏な水域を確保し、航行船舶の安全性や荷役稼働率を向上させ、効率的な港湾物流を実現するため、鞠山防波堤を平成8年度から整備しています。

この他にも、反射波の抑制、防波堤沿い波の低減、生物との共生を図る等の効果があります。

現在、順調に整備が進んでおり、200mのうち約140mが概成し、平成27年度に完成する予定です。

防波堤の延長1330mの内、先端部200mは、従来のケーソンを並べる構造から、消波ブロックなどを据え付ける構造としています。

これは、防波堤の先端部周辺において、複雑な波が発生することから、通過する船舶の一層の安全を図るため、本構造を採用したものです。

防波堤が完成すると、港内の静穏度が改善され、港の利便性が向上します。これにより船舶の利用が促進され、物流が活性化することで、敦賀港背後地域の経済発展に寄与することが期待されます。



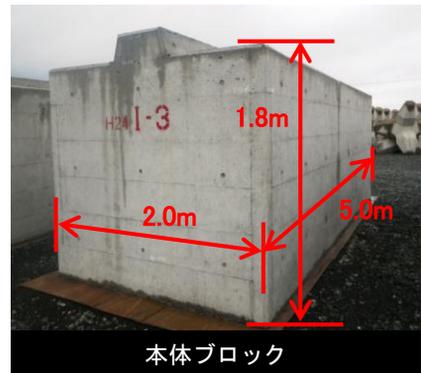
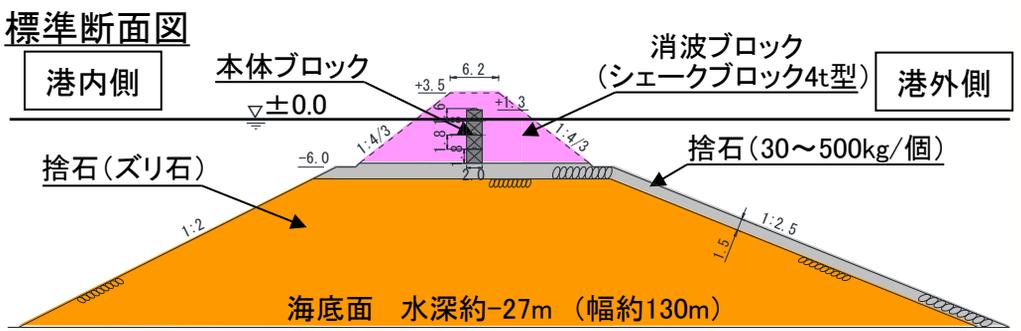
敦賀港平面図



鞠山防波堤先端部



捨石 (ズリ石) 投入状況



本体ブロック



シェイクブロック (4t型)

目次

- 敦賀港 鞠山防波堤の延伸整備を推進中! **P1**
- 敦賀港鞠山南CFSが竣工!
• クルーズ客船誘致行動計画策定のための意見交換会の開催!
• 敦賀港に自動車運搬船が初入港!
- 事務所情報伝達訓練及び災害応急対策業務に関する意見交換会を開催! **P3**
- 第14回 敦賀港サロン懇談会を開催!
• 敦賀港で消波ブロックアートを開催!
- 平成25年 コンテナ貨物量4年連続で過去最高を記録!
• 台風18号の被災地支援(住民輸送)のため、港湾業務艇「まつかぜ」を運航! **P4**

敦賀港鞠山南CFS(コンテナ・フレート・ステーション)が竣工!

福井県が敦賀港(鞠山南地区)国際物流ターミナルで建設を進めてきた「敦賀港鞠山南CFS」が完成し、平成25年11月12日(火)に敦賀港整備促進期成同盟会主催の竣工式が行われ、供用が始まりました。

竣工式では、始めに西川福井県知事から「CFS完成により大きく利便性が向上する。来年の舞鶴若狭自動車道の新線開通で物流は大きく変わり、日本海側の物流拠点として敦賀港の役割はますます重要になる。」と式辞があり、続いて河瀬敦賀市長から挨拶、福井県議会、敦賀市議会から祝辞、その後テープカットなどが続き、初荷の荷捌きにより供用が開始されました。

敦賀港の外貿コンテナ貨物取扱量は、4年連続過去最高を更新するなど大きく増加しており、CFSはこの増加に対応するため、平成25年3月に着工し約5億円をかけ建設したものです。

CFSの構造は、鉄骨造り平屋建ての高床式で、川崎・松栄地区で平成14年から使用してきた市のCFSの約1.5倍である2608²mの広さとなっています。

このCFSが完成したことで、これまで自社倉庫などを經由していた貨物を、工場から直接港に輸送することが可能となり、時間短縮と経費削減につながります。これにより、荷主の方々にとっての利便性向上、ひいては敦賀港の物流機能の強化に寄与することが期待されています。

「※CFS(コンテナ・フレート・ステーション)とは」
コンテナ1本に満たない小口貨物を他の荷主の貨物と混載する場合や、荷主がコンテナ以外で港に荷物を持ち込んだ場合に、コンテナへの荷詰め荷捌きを行う施設のこと。



西川一誠 福井県知事の式辞

河瀬一治 敦賀市長の挨拶

CFS内での荷捌きを披露

完成した鞠山南CFS

平成26年 敦賀発着のクルーズ予定一覧

発着	船名	クルーズ名	スケジュール
敦賀発着	ばしふいっくびいなす	花と緑の利尻島・礼文島クルーズ 敦賀～利尻島～礼文島～敦賀	6/28(土)～7/3(木)
①敦賀発横浜着 ②敦賀発苫小牧着	ばしふいっくびいなす	千島列島と神秘のフィヨルド・ロシア探求の旅 ①敦賀～新潟～小樽～コルサコフ ペドロパブロフスク・カムチャツキー～苫小牧～横浜 ②敦賀～新潟～小樽～コルサコフ ペドロパブロフスク・カムチャツキー～苫小牧	①7/3(木)～7/15(火) ②7/3(木)～7/13(日)
敦賀発着	ばしふいっくびいなす	等輪・ねぶた 東北二大祭りクルーズ 敦賀～秋田～青森～敦賀	8/2(土)～8/6(水)
神戸発敦賀着	飛鳥II	土佐・鹿児島花火クルーズ 神戸～宿毛～鹿児島～敦賀	8/21(木)～8/25(月)
敦賀発金沢着	飛鳥II	夏の釜山・塘港クルーズ 敦賀～釜山～塘港～金沢	8/25(月)～8/29(金)
神戸発敦賀着	ばしふいっくびいなす	韓国・釜山とウラジオストククルーズ 神戸～釜山～ウラジオストク～敦賀	9/1(月)～9/7(日)

クルーズ客船誘致行動計画策定 のための意見交換会の開催!

平成26年2月4日(火)、敦賀市役所において、「敦賀みなと振興会」の会員ら約20人が出席し、クルーズ客船誘致行動計画を策定するため、意見交換会が開催されました。

行政、企業、各振興団体から構成される敦賀みなと振興会は、敦賀港へのクルーズ客船誘致に取り組んでおり、この度、行動計画の原案を作成したため、意見交換会が実施されました。

原案には、平成30年に今年度実績の5倍となる20回の寄港を目標とし、関係者が連携した誘致を強化するための戦略などが記載されています。

本会では、岸壁のインターネット通信環境の整備の必要性や港に市民が集う取り組みを進めるべき等の意見が出されました。

今後は、振興会の会員らの意見を踏まえ、3月に行動計画が決定される予定です。



乗客に向けてのイベント



意見交換会の様子

敦賀港に自動車運搬船が初入港!

平成26年1月24日(金)に、敦賀港に自動車運搬船「CANADIAN HIGHWAY」が初入港しました。今回は石川県の工場で生産された建設機械の輸送コストを削減するため、試験的に敦賀港を利用したもので、建設機械を41台載せて中東に向け出港しました。

同船は、長さ約200m、幅約30m、高さ約35mで、自動車を約6000台も積むことができ、5万9447トン(総トン数)と敦賀港に寄港した船舶では過去最大となります。船内は、12層に分かれており、主な貨物である自動車やトラック、建設機械などにあわせ、各層の高さを調整することができま。

初入港した船への積み込みであるため、トラックや建設機械をゆつくりと動かし、ランプウェイや岸壁に接触しないかを確かめ、また建設機械の積み込みの順番や固定の状況も確認しながら、1台ずつ慎重に積み込みを行っていました。

「※総トン数とは」

船内の総容積から、航海のための諸室等を除いた容積を、100立方フィート(約2.83トン)として表したもののこと。



自動車運搬船と建設機械



建設機械の積込状況

事務所情報伝達訓練及び災害応急対策業務に関する意見交換会を開催！

「事務所情報伝達訓練」

平成25年9月11日（水）に事務所情報伝達訓練を実施しました。本訓練は、地震・津波による災害発生時の初動体制をはじめ、通信の確保や機器操作の習熟、災害協定団体との連携強化を図ることを目的に毎年実施しています。

訓練は、地震による岸壁背後の陥没や段差、消波ブロックの沈下などを想定し、北陸地方整備局又は当事務所と協定を締結している全ての災害協定団体に応援要請などを行いました。要請を受けた団体からは、被害状況・要請内容に対して機材や体制などを返答していただくものです。

訓練後には、対応状況や防災マニュアルの確認、次年度の訓練内容の提案などの反省会を開きました。

「災害応急対策業務に関する意見交換会」

平成25年11月28日（木）、金沢市において、「災害応急対策業務に関する意見交換会」（富山・石川・福井地区）を開催しました。

本意見交換会は、地震災害や風水害等の自然災害の発生により港湾施設が被災した場合の被害の拡大防止と被災施設の早期復旧を円滑に実施することを目的とし、毎年開催しています。

当日は災害協定団体、防災エキスパート、北陸地方整備局及び各事務所職員ら約100人が参加し災害時における電源確保の準備状況や9月に実施した情報伝達訓練における課題など、活発な意見交換を行いました。



情報伝達訓練の様子



意見交換会の様子

第14回敦賀港サロン懇談会を開催！

平成25年10月16日（水）、敦賀に関連する日本海沿岸地域の郷土史を調査研究している市民グループ「日本海地誌調査研究会」と当事務所が、敦賀港について意見交換をする「サロン懇談会」を敦賀市内で開催しました。同懇談会は、行政や港湾関係者だけでなく、様々な分野の方々の意見を敦賀港の整備に活かしていくため、平成12年から毎年開催し、今回で14回目となりました。

始めに、敦賀港湾事務所松本所長から「敦賀に精通した日本海地誌調査研究会の皆様と情報交換・知識の共有ができることを嬉しく思います」と開会の挨拶があり、続いて日本海地誌調査研究会の繁田会長から「台風の影響で少人数になりましたが、そのぶん深い話し合いができれば幸いです」と挨拶がありました。

その後、当事務所から「北陸管内港湾及び敦賀港の現状と最近の話題」、「クルーズ振興の現状」と題し情報提供を行いました。

意見交換では、「鞠山南地区の2期バースができれば、より大きな客船が寄港するのではないか」、「敦賀港をもっとアピールし客船誘致を行った方がよい」など様々な意見や質問が出され、活発な意見交換の場となり、敦賀港の取り組みが市民から注目されていることが伺えました。

敦賀港の発展のためには、地域の方々と議論し、地域に根付いた取り組みをすることが重要であると感じさせられる有意義な懇談会となりました。



繁田会長からの挨拶



会場全体の様子

敦賀港で消波ブロックアートを開催！

平成25年10月18日（金）、敦賀港川崎・松栄地区のブロック製作ヤードにおいて、港と防波堤の役割について学習し、港に親しみをもってもらうことを目的に、敦賀西小学校の3、4年生86名が、総合学習の一環で消波ブロックアートを体験しました。

最初に、敦賀港や消波ブロックの役割などについての講話を行い、その後、児童達が図工の授業で画用紙に描いた絵を元に下絵された消波ブロックに、様々な色を入れていきました。みんな真剣に、そして時には楽しそうに描き、朗らかな時間が流れていました。

最後に児童達から感想を聞いたところ多くの手が上がり、「今日はこんなに楽しいことをさせていただきありがとうございます」、「私より大きいものに絵を描くのが初めての体験でした」、「いつかフェリーに乗って描いた絵を見に行きたい」など思い思いの感想が返ってきました。

この消波ブロックは、平成26年2月まで展示後、鞠山北防波堤の最上段に据え付けられました。



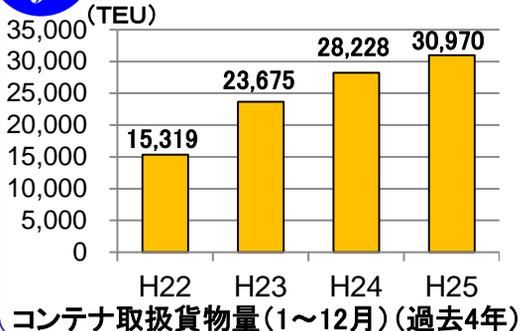
敦賀港や消波ブロックの役割について講話



消波ブロックに描く児童達

平成25年 コンテナ貨物量 4年連続で過去最高を記録!

Information



平成25年の敦賀港の外贸コンテナ取扱貨物量（実入り）が、前年比10%増の3万970TEU（1TEUは20フィートコンテナ1個分）となり過去最高記録を4年連続で更新しました。内訳は、輸出が前年比13%増の1万3392TEU、輸入が同7%増の1万7578TEUでした。

これは、輸出では韓国、中国への液晶ガラスや農業機械、輸入では東南アジアからの住宅資材、中国からの家具などが増加したことが主な要因です。また、平成24年11月から就航している韓国・中国航路が通年で増加を後押ししました。

台風18号の被災地支援(住民輸送)のため、港湾業務艇「まつかぜ」を運航!



平成25年9月30日(月)から10月4日(金)の間、福井県若狭町小川漁港と世久見漁港間において、当事務所所有の港湾業務艇「まつかぜ」が被災地支援を行いました。

今回の支援は、9月15日から16日にかけて来襲した台風18号により土砂崩れが発生し、幹線道路が不通となった常神半島の住民支援として、福井県からの運航要請を受けて実施したものです。

不通になった区間の迂回路設置に約1ヶ月かかる見通しにであったことから、福井県は9月18日から民間船や県所有の船舶による住民輸送を1日3往復(20日から4往復)運航していました。しかし、こ



の輸送体制だけでは、利用が増える朝夕の通勤・通学時間帯に船舶の定員を上回る利用が想定されたことから、「まつかぜ」を利用したい旨の要請があったものです。

福井県と調整した結果、午前1回(午前7時5分小川漁港発)と午後1回(午後5時世久見漁港発)の1日2便を運航することとしました。

その結果、合計7便(悪天候のため延べ3便欠航)で130人(大人114人、子供13人、乳児3人)の方が乗船され、現地では、乗船された住民の方々から「ありがとうございます」、「助かります」などの声をかけていただきました。

今回、「まつかぜ」を被災地支援として使用した初めての事例となりましたが、当事務所としては、住民の方々を無事に輸送することができ、被災地の移動の足としてお役に立てたと考えています。

「※港湾業務艇「まつかぜ」とは」
港湾工事の監督や港湾施設の点検等を行うための船舶。

●発行
国土交通省 北陸地方整備局 敦賀港湾事務所

所長・副所長(事務)・総務課・品質管理課
工務課・保全課・企画調整課・沿岸防災対策室
〒914-0065 福井県敦賀市松栄町2丁目4-3
TEL:0770-22-2590 FAX:0770-21-8101

福井分室 副所長(技術)・海岸課
〒913-0037 福井県坂井市三国町黒目24字32
TEL:0776-82-1125 FAX:0776-81-7003

敦賀港湾事務所HP <http://www.tsuruga.pa.hrr.mlit.go.jp>
北陸地方整備局 港湾空港部HP <http://www.pa.hrr.mlit.go.jp>

「海とみなとの相談窓口」全国共通フリーダイヤル
0120-497-370

※海やみななどに関するご意見、ご感想をお寄せください。